

記 入 日 2011年1月10日

1. 概 要

実践団体名	八女市上陽防火委員会		
連絡先	※代表者または担当者の連絡先電話番号 0943-54-2119		
プランタイトル	八女市上陽防火委員会総合訓練		
プランの対象者※1	幼稚園児 小学生高学年、中学生 地域住民	対象とする 災害種別※2	地震、風水害、火災

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

【プランの目的・ここがポイント!】

- ・従来の防火委員会各クラブ単独で行っていた活動から、本プランの各クラブ合同の訓練や、地域住民を巻き込んだ活動を通じて多世代間のコミュニティを図る。
- ・町伝統行事への参加を通じ、郷土愛を育むと同時に継続した活動を維持する。

【プランの概要】

- ・地元消防団や自衛消防隊と少年消防クラブ員が町を歩き見聞を行い、防災マップを作成し町の実態・特徴を知る。
- ・町伝統行事の万灯流し(精霊流し)にむけ、関係者と共同した竹灯籠づくりや会場の設営を行う。
- ・町伝統行事の上陽祭り(全日本きんま選手権大会)会場で、婦人防火クラブ員と共同した炊き出し(おしるこ・豚汁)を行い来場者へふるまいながら防災 PR を実施する。

【期待される効果・ここがおすすめ!】

- ・オンリーワンの防災マップを作成し各家庭で発表させ、掲示することにより、クラブ員から家族へさらには、地域住民へと防災意識の高揚を広げていくことができる。
- ・各活動に関わる年齢層に厚みを加えたことにより、地域コミュニティの中にも新たなコミュニティが生まれる。
- ・少年消防クラブ員各個に自分達が住んでいる町を支えていくために必要な小さな役割を身につけさせ、地域社会を築くために必要な一歩を踏み出すことができる。
- ・町伝統行事や祭りへの参加を通じた防災教育を行うことにより、地域住民への防火防災の普及啓発につながるとともに、今後、継続した末長い活動、広報が期待できる。

2. プランの年間活動記録 (2011 年)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4 月			
5 月			
6 月	町歩き防災マップ 立案	講師依頼	
7 月	地域行事（万灯流 し）参加立案 料理教室立案	竹伐り 資器材購入、借用等	町歩き防災マップ作成 料理教室実施（7～11月）
8 月			地域行事（万灯流し）参加
9 月	防災ふれあい大会 参加立案		
10 月	上陽まつり参加立 案	防災ふれあい大会会場 設営	防災ふれあい大会参加
11 月		資器材借用、材料購入 上陽まつり会場設営	上陽まつり参加
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号： 1】※3

タイトル	町歩き防災マップ作成
実施月日（曜日）	7月2日（土）
実施場所	八女市上陽町北川内地区一帯
担当者または講師	担当者・講師等の区分：講師 氏 名：野田一義 所属・役職等：自衛消防隊長
所要時間または「コマ数×単位時間」	9：00～12：00 3時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	9. 校外学習、移動教室 12. 研究
活動目的※5	3. 災害に強い地域をつくる
達成目標	防災マップの完成
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	1. 防災マップの説明 2. 3班に分けて町歩き 3. 班ごとに気づいたことを地図に記入する 4. 各個人専用の防災マップを作成する
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	自衛消防隊、消防団 画板、鉛筆、マジック、ふせん、地図（大）×4、（小）×30
参加人数	36人
経費の総額・内訳概要	21,776円（防災マップ作成用品、謝礼金）
成果と課題	【成果】 自分の住んでいる町の特徴や過去の災害等を見聞き、災害予測や避難場所、避難経路を知ることができた。 【課題】 他の地区の防災マップ作成
成果物	防災マップ

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 2 】※3

タイトル	竹灯明作成（万灯流し）
実施月日（曜日）	8月12日（金） 8月16日（火）
実施場所	八女市農業活性化センター、上陽町星野川一帯
担当者または講師	担当者・講師等の区分：講師 氏 名：小川健久 所属・役職等：観光協会上陽支部長
所要時間または「コマ数×単位時間」	8/12 9：00～17：00 8時間 8/16 15：00～21：00 6時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	1. イベント・行事
活動目的※5	8. 防災意識を高める
達成目標	地域住民との交流、活動PR
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<ul style="list-style-type: none"> ・竹灯明説明 ・竹に絵を下書きする ・ドリルで穴をあけ、ジグソーで竹を彫る ・万灯流し会場にて展示
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	八女市役所上陽支所、観光協会上陽支部、グラウンドワーク福岡 竹、丸のこ、ドリル、ジグソー、ろうそく、ライター
参加人数	50人
経費の総額・内訳概要	0円
成果と課題	<p>【成果】 地域行事に参加し、郷土愛を育み、町の伝統と文化を知ると共に多世代の交流ができた。</p> <p>【課題】 今後も継続して参加する</p>
成果物	竹灯明

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 3 】※3

タイトル	料理教室
実施月日（曜日）	7月～11月
実施場所	各家庭
担当者または講師	担当者・講師等の区分：講師 氏 名： 所属・役職等：各家庭の保護者
所要時間または 「コマ数×単位時間」	
プログラムの カテゴリ、形式※4	10. 家庭学習
活動目的※5	7. 技術を身につける
達成目標	災害時子供でも役に立てる人材の育成
実践方法・進め方 (箇条書き またはフロー)	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で実施 ・包丁の使い方や料理の仕方を習う
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<p>各家庭の保護者</p> <p>料理器材、食材</p>
参加人数	38世帯
経費の総額・内訳概要	0円
成果と課題	<p>【成果】 包丁の使い方や料理の仕方を学ぶことができた。</p> <p>【課題】 今後も継続して実施する。</p>
成果物	

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 4 】※3

タイトル	防災ふれあい大会参加
実施月日（曜日）	10月23日（日）
実施場所	旧上横山小学校グラウンド
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：木附大策 所属・役職等：八女消防署上陽分署
所要時間または「コマ数×単位時間」	9：00～12：00 3時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	16. 避難・防災訓練
活動目的※5	4. 災害を想定した訓練
達成目標	地域住民の防災意識の向上
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	地域の防災訓練に参加し、避難訓練、担架搬送・初期消火訓練、陸上自衛隊との炊き出し訓練などを実施
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	担架、初期消火訓練用的、水消火器、ふうせん
参加人数	400人
経費の総額・内訳概要	0円
成果と課題	【成果】 地域コミュニティの活性化と防災意識の向上 【課題】 今後も継続して参加する
成果物	

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 5 】※3

タイトル	上陽まつり参加
実施月日（曜日）	11月12日
実施場所	八女市上陽町 春の山公園
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：木附大策 所属・役職等：八女消防署上陽分署長
所要時間または「コマ数×単位時間」	9：00～16：00 7時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	1. イベント・行事 17. その他（炊き出し）
活動目的※5	4. 災害を想定した訓練
達成目標	災害時子供でも役に立てる人材の育成
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	少年消防クラブと婦人防火クラブ合同で炊き出し訓練（豚汁、ぜんざい）を実施し、来場者に振る舞う
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	炊き出し鍋、食材、洗剤、食器類、チラシ
参加人数	1000人
経費の総額・内訳概要	91,375円（会場費、食材費、チラシ、洗剤、食器類、保険、謝礼金）
成果と課題	【成果】 ・少年消防クラブと婦人防火クラブの連携、交流が深まった。 ・地域住民に対し広く活動PRができた。 【課題】 今後も継続して参加する
成果物	東日本被災地への義援金（10,765円）

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案と調整で苦勞した点 工夫した点</p>	<p>(苦勞した点) 初めは、防火委員会各クラブの連携や多世代交流を目的とした活動プランを考えていたが、防火委員会内にとどまらず地域全体を巻き込んだ活動にするにはどうしたらよいか、プランの立案に苦勞した。</p> <p>(工夫した点) 婦人防火クラブと少年消防クラブ合同の炊き出し訓練を実施するにあたって、当初は町の公民館で実施予定していたが、地域の祭り会場で炊き出し訓練を行い来場者に振る舞うようにした。また、炊き出しの事前訓練として各家庭において料理教室を行い、家庭内においても様々な会話を通して防災について考えるきっかけづくりをした。</p>
<p>準備活動で苦勞した点 工夫した点</p>	<p>(苦勞した点) 活動に必要な資器材等の手配。なるべくコストが掛からないようにするにはどうしたらよいか</p> <p>(工夫した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町歩き防災マップ作成 <ul style="list-style-type: none"> ・町歩きの際に使う画板は小学校から借用した ・防災マップの地図を市役所に準備してもらった ・防災マップの作成場所は町の公民館を借用した ○地域行事（万灯流し） <ul style="list-style-type: none"> ・竹灯明づくりで使用資器材は観光協会から借用した。 ・使用する竹は、観光協会の方と協力し自分たちで竹伐りをした ・竹灯明作成場所は町の研修センターを借用した ○上陽まつり参加（炊き出し訓練） <ul style="list-style-type: none"> ・炊き出しに使用する資器材は他の行政区から借用した ・東日本被災地への募金箱を竹で作成した。
<p>実践に当たって苦勞した点 工夫した点</p>	<p>(苦勞した点) 夏場の熱中症対策、体調管理等 竹灯明作成時の安全管理 炊き出し訓練時の衛生管理</p> <p>(工夫した点) 竹灯明作成において、子供に対する大人の人数が少なかったため、観光協会や市役所職員、NPO法人の方々の協力を得てジグソーやドリルを使用する祭は必ず大人がつくように徹底した。</p>

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	小中一貫教育校八女市立上陽北浜学園	活動全般
保護者・ PTAの組織	少年消防クラブ員保護者	活動全般
地域組織	八女市消防団第9、10分団 自衛消防隊	町歩き防災マップ作成 防災ふれあい大会
国・地方公共団体・ 公共施設	八女市役所上陽支所 八女市観光協会上陽支部	活動全般 地域行事（万灯流し）
企業・ 産業関連の組合等		
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	NPO法人グラウンドワーク福岡	地域行事（万灯流し）
職業、職能団体・ 学術組織、学会等		

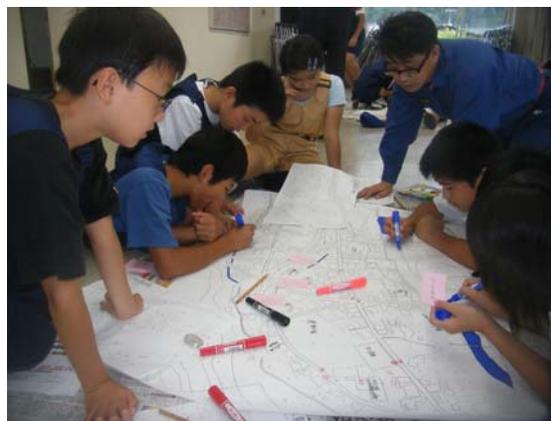
6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

成果として 得たこと	<ul style="list-style-type: none">・町歩き防災マップ作成を通し、地形・建物・人・災害等の特徴を知り、防火防災意識の普及啓発が図られた。・多世代間の交流から信頼関係・共同意識・互いの連帯感等が深まった。・幅広い年齢層の中で、会話ができるようになった。
全体の反省・ 感想・課題	<ul style="list-style-type: none">・より充実した活動をするためにアドバイザーの派遣を利用すべきであった。・チャレンジプランに参加して、防火委員会の活動の幅が広がり、効果の上がる防災教育指導のやり方を学ぶことができた。・今後もチャレンジプラン（他団体の活動等）を参考にして、地域のさらなる自主防災力向上にむけた活動を行っていきたい。
今後の 継続予定	<ul style="list-style-type: none">・他の地区の防災マップ作成・地域行事・祭りへの参加・防災訓練



7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。



～町歩き防災マップ作成～



～竹灯明作成（万灯流し参加）～



～料理教室～

(自由記述: 1/3)



～防災ふれあい大会～



～上陽まつり参加（炊き出し訓練）～

(自由記述: 2/3)

A large empty rectangular box with a blue border, intended for free text entry.

(自由記述: 3/3)